

農林水産省 令和2年度輸出環境整備推進委託事業
(食品規格等調査) 調査報告書

中華人民共和国

栄養表示及び栄養強調表示

1 栄養表示.....	1
2. 栄養強調表示.....	6

本報告書は、農林水産省の委託を受け、アルゴリンクス株式会社が調査を行い、取りまとめたものである。アルゴリンクス株式会社は、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の付随的、あるいは懲罰的損害及び利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負うものではありません。これは、たとえ、アルゴリンクス株式会社がかかる損害の可能性を知らされていた場合も同様とします。

なお、食品、添加物等に関する国際的な基準及び許認可は頻繁に変更されており、信頼できるとされる各種情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。したがって、実際の利用に当たっては、対象国の最新の情報をご確認ください。

包装済み食品の栄養表示規則である「包装済み食品の栄養表示に関する一般規則(预包装食品营养标签通则)(GB28050-2011)」が、2011年に発行されている。包装済み食品の輸入業者と製造業者は、栄養表示基準の要件を満たさなければならない。

なお、2020年8月に、ドラフト改訂版(GB28050-20XX)がパブリックコメントとして発表され、その主な改正内容として、義務表記項目の追加(飽和脂肪酸、糖類)や栄養素等摂取目安量(NRV)の定義、栄養素の比較表示や機能表示可能項目等の改訂があるため、今後注意が必要である。

1 栄養表示

中国では、全ての包装済み食品には栄養表示は必須である

1) 基本要件

- ・包装済み食品の栄養表示に記載されている栄養情報は、真実かつ客観的で、虚偽であってはならず、製品の栄養機能またはその他の機能を誇張してはならない。
- ・包装済み食品の栄養表示は中国語で記載しなければならない。外国語を併用する場合、その内容は中国語の記載内容と一致しなくてはならない。また、その文字サイズは中国語の栄養表示のサイズを超えてはならない。
- ・栄養情報は、「栄養成分表」というタイトルの、任意のサイズで包装のベースラインに垂直な「箱型」(特別な場合を除く)でなければならない。
- ・食品中の栄養素含有量は、原材料の計算または製品試験を通じて得られた具体的な数値で表示されなければならない。
- ・栄養表示は、消費者に供給される最小の販売単位の包装に貼付しなければならない。

2) 必須の表示項目

すべての包装済み食品の栄養表示に必須の表示情報は、エネルギーと主要栄養素(たんぱく質、脂肪、炭水化物、ナトリウム)の含有量および栄養素等摂取目安量(NRV*)の比率である。他の成分を表示する際は、エネルギーと主要栄養素を適切に強調しなければならない。

以下の条件では、栄養素の表示も義務付けられている。

- ・エネルギーおよび主要栄養素以外の栄養成分について栄養強調表示または栄養素機能強調表示を行う場合は、その栄養成分の含有量とNRVに対する割合を示さなければならない。
- ・包装済み食品に強化栄養素が添加されている場合は、強化栄養素の含有量とNRVに対する比率も表示しなければならない。
- ・水素添加油または部分水素添加油が食品成分に含まれている場合、または製造工程で使用されている場合、トランス脂肪(トランス脂肪酸)の含有量を栄養表示に記載しなければならない。

中国は現在、糖類と脂肪に焦点を当てており、先述の2020年8月ドラフト改訂版(GB28050-20XX)で必須の栄養成分表示項目が改訂される見込みである。

3) 任意の表示項目

上記の必須の表示情報に加えて、すべてのビタミンやミネラル等の他の成分情報も任意で表示できる。

任意の栄養成分の表示された含有量が、含有量の要件および制限条件を満たしている場合、その成分について栄養素含有量強調表示または栄養素機能強調表示を行うことができる。これらは、別の「強調表示」セクションで述べる。

4) 栄養成分値の表現

包装済み食品のエネルギーおよび栄養成分は、100g当たり、100ml当たり、および各食品ピースの可食部当たりの含有量を表示する必要がある。食品ピースの可食部当たりの含有量を採用する場合は、食品ピースの数量を表示しなければならない。そのピースのサイズは、食品の特性または推奨される量に応じて定義されなければならない。

栄養情報における必須およびオプション表示の栄養成分の名前、(表示)順序、単位、修正幅、および「0」境界値は、表1に示すとおりでなければならない。特定の栄養成分を表示しない場合、他の栄養成分を順次繰り上げる。

表 1. エネルギーと栄養成分の名称、順序、単位、修正幅と「ゼロ」表示閾値

エネルギーと栄養成分の名称と順序	単位 a	修正幅	「ゼロ」表示閾値(100g または 100ml 当たり) b
エネルギー	kJ	1	≦17kJ
たんぱく質	g	0.1	≦0.5g
脂肪	g	0.1	≦0.5g
飽和脂肪 (飽和脂肪酸)	g	0.1	≦0.1g
トランス脂肪(トランス脂肪酸)	g	0.1	≦0.3g
一価不飽和脂肪(MUFA)	g	0.1	≦0.1g
多価不飽和脂肪(PUFA)	g	0.1	≦0.1g
コレステロール	mg	1	≦5mg
炭水化物	g	0.1	≦0.5g
糖(乳糖 c)	g	0.1	≦0.5g
食物繊維(または単量体または水溶性または不溶性食物繊維)	g	0.1	≦0.5g
ナトリウム	mg	1	≦5mg
ビタミン A	μg RE	1	≦8 μg RE
ビタミン D	μg	0.1	≦0.1 μg
ビタミン E	mg α-TE	0.01	≦0.28mg α-TE
ビタミン K	μg	0.1	≦1.6 μg
ビタミン B1(チアミン)	mg	0.01	≦0.03mg
ビタミン B2(リボフラビン)	mg	0.01	≦0.03mg
ビタミン B6	mg	0.01	≦0.03mg
ビタミン B12	μg	0.01	≦0.05 μg
ビタミン C(アスコルビン酸)	mg	0.1	≦2.0mg
ナイアシン(ナイアシンアミド)	mg	0.01	≦0.28mg
葉酸	Mg または μg DFE	1	≦8 μg
パントテン酸	mg	0.01	≦0.10mg
ビオチン	μg	0.1	≦0.6 μg
コリン	mg	0.1	≦9.0mg
P(リン)	mg	0.1	≦14mg
K(カリウム)	mg	1	≦20mg
Mg(マグネシウム)	mg	1	≦6mg

Ca(カルシウム)	mg	1	≤8mg
Fe(鉄)	mg	0.1	≤0.3mg
Zn(亜鉛)	mg	0.01	≤0.30mg
I(ヨウ素)	μg	0.1	≤3.0μg
Se(セレン)	μg	0.1	≤1.0μg
Cu(銅)	mg	0.01	≤0.03mg
F(フッ素)	mg	0.01	≤0.02mg
Mn(マンガン)	mg	0.01	≤0.6mg

- a. 栄養成分は、表1に示される中国語または英語のいずれか、或いは両方の単位で表記することができる。
- b. 特定の栄養成分含有量が「0」表示閾値に等しいか、またはそれ未満の場合、「0」と表示しなければならない。測定単位として「ピース(個)」を採用する場合、100g ごとまたは 100ml ごとの「0」表示閾値要件も満たさなければならない。
- c. 乳糖は、牛乳や乳製品の栄養表示に直接表示できる。

NRV は、食品の栄養表示のために指定され、食品の栄養成分の含有量を比較するために使用される参照値を指す。表 2 に、各栄養成分の NRV を示す。

表 2. エネルギーと 32 栄養成分の NRV

栄養成分	NRV	栄養成分	NRV
エネルギー a	8400kJ	葉酸	400 μgDFE
たんぱく質	60g	パントテン酸	5mg
脂肪	≤60g	ビオチン	30 μg
飽和脂肪酸	≤20g	コリン	450mg
コレステロール	≤300mg	Ca	800mg
炭水化物	300g	P	700mg
食物繊維	25g	K	2000mg
ビタミン A	800 μgRE	Na	2000mg
ビタミン D	5 μg	Mg	300mg
ビタミン E	14mg α-TE	Fe	15mg
ビタミン K	80 μg	Zn	15mg
ビタミン B1	1.4 mg	I	150 μg
ビタミン B2	1.4mg	Se	50 μg
ビタミン B6	1.4 mg	Cu	1.5 mg
ビタミン B12	2.4 μg	F	1 mg
ビタミン C	100mg	Mn	3 mg
ナイアシン	1.4mg		

a.エネルギー= 2000kcal;たんぱく質、脂肪、炭水化物によって供給されるエネルギーは、それぞれ総エネルギーの13%、27%、60%を占めている。

5) 栄養表示の表示形式

包装済み食品の栄養表示には全部で6つのフォーマットがある。食品企業は、栄養特性、包装のサイズと形状、およびその他の要因に応じてフォーマットを選択することができる。

① エネルギーと主要栄養素のみが表記されたフォーマット例

栄養成分表		
項目	100 g 当たり、または 100 ml 当たり、あるいは 1食分当たり	%NRV
エネルギー	kJ	%
たんぱく質	g	%
脂肪	g	%
炭水化物	g	%
ナトリウム	mg	%

② より多くの栄養素が表記されたフォーマット例

注意) 主要栄養素は適切に強調されなければならない。

栄養成分表		
項目	100 g 当たり、または 100 ml 当たり、あるいは 1食分当たり	%NRV
エネルギー	kJ	%
たんぱく質	g	%
脂肪	g	%
--飽和脂肪	g	
コレステロール	mg	%
炭水化物	g	%
--糖類	g	
食物繊維	g	%
ナトリウム	mg	%
ビタミン A	μ g RE	%
カルシウム	mg	%

③ 外国語併記のフォーマット例

以下は、実際の英語併記例。

营养成分表 nutrition information

項目/Items	每 100 克 (g) 或 100 毫升 (ml) 或 每份 per 100 g/100 ml or per serving	营养素参考值 %/ NRV %
能量/energy	千焦 (kJ)	%
蛋白质/protein	克 (g)	%
脂肪/ fat	克 (g)	%
碳水化合物/carbohydrate	克 (g)	%
钠/ sodium	毫克 (mg)	%

④ 水平フォーマット例

注意) 包装の特性にしたがって、栄養素は左から右へ水平に配列し 2 つ以上の列にすることもできる。

营养成分表

項目	100 g 当たり、または 100 ml 当たり、あるいは 1 食分当たり	%NRV	項目	100 g 当たり、または 100 ml 当たり、あるいは 1 食分当たり	%NRV
エネルギー	kJ	%	たんぱく質	g	%
炭水化物	g	%	脂肪	g	%
ナトリウム	g	%	—	—	%

⑤ 非表形式(文字列のみ)のフォーマット例

包装総面積が 100 cm²未満の食品の場合、非表形式の栄養素を表記することが認められており、NRV の表示は省略できる。以下の例に示すように、包装の特性に応じて、栄養素は左から右、または上から下に水平に配置される。

例:

栄養成分/ 100g: エネルギー〇〇kJ, たんぱく質〇〇g, 脂肪〇〇g,
炭水化物××g, ナトリウム××mg。

⑥ 栄養強調表示および/または栄養素機能強調表示のあるフォーマット例

营养成分表

項目	100 g 当たり、または 100 ml 当 り、あるいは 1 食分当たり	%NRV
エネルギー	kJ	%
たんぱく質	g	%
脂肪	g	%
炭水化物	g	%
ナトリウム	mg	%

次のような栄養強調表示: 低脂肪 × ×。

次のような栄養成分機能の主張: 毎日の食事で脂肪によって提供されるエネルギーの割合は、総エネルギーの30%を超えてはなりません。

栄養強調表示および栄養素機能強調表示は、ラベルのどこにでも配置できる。ただし、フォントサイズは、食品名および商標のサイズを上回ってはならない。

6) 必須栄養成分表示が免除されている包装済み食品

以下の包装済み食品は、必須栄養成分表示が免除されている。

- ・包装された生肉、生魚、生鮮野菜および果物、生卵などの生鮮食品
- ・アルコール含有量が0.5%以上の飲料およびリキュール
- ・包装総面積 100 cm²以下または最大表面積 20c cm²以下の食品
- ・現場で調理および販売される食品。
- ・包装された飲料水。
- ・1日当たりの摂取量が10g以下または10ml以下の食品。
- ・法律、規制、基準の規程に従って栄養表示が免除されているその他の包装済み食品。

ただし、必須栄養表示が免除されている包装済み食品であっても、栄養情報が表示されている場合は、同じ栄養表示基準を適用される。

7) 表記された栄養素の検証

表記された栄養情報を正確で一貫したものにするため、製品の品質保持期限内のエネルギーや栄養成分の含有量の許容誤差範囲は、表3の要件を満たす必要がある。

表3. エネルギーと栄養成分の含有量の許容誤差範囲

エネルギーと栄養成分	許容誤差範囲
たんぱく質、多価不飽和脂肪(PUFA)と一価不飽和脂肪(MUFA)、炭水化物、糖類(乳糖のみ)、可溶性または不溶性食物繊維とその単量体、ビタミン(ビタミンDおよびビタミンAを除く)、ミネラル(ナトリウムを除く)、その他の強化栄養成分	表示値の $\geq 80\%$
エネルギー、脂肪、飽和脂肪(飽和脂肪酸)、トランス脂肪(トランス脂肪酸)、コレステロール、ナトリウム、糖類(乳糖を除く)	表示値の $\leq 120\%$
食品中のビタミンAとビタミンD	表示値の80%-180%

2. 栄養強調表示

中国においては、栄養強調表示は、エネルギー含有量や食品の他の栄養特性の記述と声明を指す。栄養強調表示には、栄養素含有量強調表示と栄養素比較強調表示がある。

製品が栄養強調表示を行う場合、対応する栄養素の要件を満たしている必要がある。すべての要件と使用できる同義語は、「包装済み食品の栄養表示に関する一般規則(预包装食品营养标签通则)(GB28050-2011)」の栄養表示基準に

記載されている。

1) 栄養素含有量強調表示

栄養素含有量強調表示は、食品中のエネルギーまたは栄養成分の含有量を記述する強調表示を指す。強調表示の文言には、「含む」「高い」「低い」「なし」などが含まれる。

表 4. エネルギーと栄養素の栄養素含有量強調表示のための(含有量)要件、(制約)条件

項目	含有量強調表示	含有量要件 a	制約条件
エネルギー	無エネルギー	≤17 kJ/100 g (固体) または 100 ml (液体)	脂質が供給するエネルギー含有量は総エネルギーの≤50%
	低エネルギー	≤170kJ/100g (固体) ≤80kJ/100 ml (液体)	
たんぱく質	低たんぱく質	たんぱく質が供給するエネルギーの含有量が総エネルギーの≤5%	総エネルギーは、100g/ml 当たり、または 1 食当たり
	たんぱく質源、 または たんぱく質を含む	100g 当たりの含有量≥10%NRV 100 ml 当たりの含有量≥5%NRV または 420 kJ 当たりの含有量≥5%NRV	
	たんぱく質が多い、 または 豊富	100g 当たりの含有量≥20%NRV 100ml 当たりの含有量≥10%NRV または 420kJ 当たりの含有量≥10%NRV	
脂肪	無脂肪または 脂肪を含まない	≤0.5g/100 g (固体) または 100 ml (液体)	
	低脂肪	≤3g/100 g (固体) ≤1.5g/100ml (液体)	
	赤身 (除脂肪、Lean)	脂肪の含有量は≤10%	動物と鳥の肉のみ
	脱脂	液体ミルクやヨーグルト: 脂肪含有量 ≤0.5% 粉ミルク (Milk power): 脂肪含有量: ≤ 1.5%	ミルクのみ
	無飽和脂肪、または 飽和脂肪を含まない	≤0.1 g / 100 g (固体) or 100 ml (液体)	飽和脂肪とトランス脂肪の合計
	低飽和脂肪	≤1.5 g/100 g 固体 ≤0.75 g /100 ml 液体	飽和脂肪とトランス脂肪の合計。 エネルギーが 食品の総エネルギーの 10%未満
	無トランス脂肪または トランス脂肪を含まない	≤0.3g/100 g (固体) または 100 ml (液体)	
コレステロール	無コレステロールまたは コレステロールを 含まない	≤5mg/100 g (固体) または 100 ml (液体)	同時に 低飽和脂肪の含有量強調表示の要件と制限を満たすこと
	低コレステロール	≤20mg/100 g (固体) ≤10mg/100 ml (液体)	

炭水化物 (糖類)、 ビタミン C ナイアシン	無糖または 糖を含まない	$\leq 0.5 \text{ g} / 100 \text{ g}$ (固体)または 100 ml (液体)	
	低糖	$\leq 5\text{g} / 100 \text{ g}$ (固体)または 100 ml (液 体)	
	低乳糖	乳糖の含有量が $\leq 2\text{g} / 100 \text{ g}$ (ml)	ミルクのみ
	無乳糖	乳糖の含有量が $\leq 0.5\text{g} / 100\text{g}$ (ml)	
食物繊維	食物繊維源 または食物繊維を含 む	$\geq 3\text{g} / 100\text{g}$ (固体) $\geq 1.5\text{g} / 100\text{ml}$ (液体) $\geq 1.5 \text{ g} / 420 \text{ kJ}$	食物繊維の合計含有量が 含有量の要件を満たすこ と;または、 可溶性および不溶性の食 物繊維または単量体のい ずれかの項目が含有量の 要件を満たすこと
	食物繊維が多いまた は豊富 または良好な供給源	$\geq 6 \text{ g} / 100 \text{ g}$ (固体) $\geq 3 \text{ g} / 100 \text{ ml}$ (液体) または $\geq 3 \text{ g} / 420 \text{ kJ}$	
ナトリウム	無ナトリウムまたはナ トリウムを含まない	$\leq 5\text{mg} / 100\text{g}$ または 100 ml	ナトリウムの強調表示で は、「塩」という単語が、「ナ トリウム」という単語の代わ りに使える、例えば「低塩」 や「減塩」など
	極低ナトリウム	$\leq 40\text{mg} / 100\text{g}$ または 100ml	
	低ナトリウム	$\leq 120\text{mg} / 100\text{g}$ または 100ml	
ビタミン	ビタミン× 源または ビタミン×を含む	100g 当たり $\geq 15\%$ NRV 100 ml 当たり $\geq 7.5\%$ NRV または 420 kJ 当たり $\geq 5\%$ NRV	「複合ビタミン」を含むと は、「含む」の強調表示要 件を満たす 3 つ以上のビタ ミンを含むことを意味する
	ビタミン×が多いまた は豊富	100g 当たり $\geq 30\%$ NRV 100 ml 当たり $\geq 15\%$ NRV または 420 kJ 当たり $\geq 10\%$ NRV	「複合ビタミン」が豊富と は、「豊富」の強調表示要 件を満たす 3 つ以上のビタ ミンを含むことを意味する
ミネラル (ナトリウムを除 く)	× 源、または × を含 む	100g 当たり $\geq 15\%$ NRV 100ml 当たり $\geq 7.5\%$ NRV または 420kJ 当たり $\geq 5\%$ NRV	「複合ミネラル」を含むと は、「含む」の強調表示要 件を満たす 3 つ以上のミネ ラルを含むことを意味する
	× が多い、または豊 富	100g 当たり $\geq 30\%$ NRV 100 ml 当たり $\geq 15\%$ NRV または 420 kJ 当たり $\geq 10\%$ NRV	「複合ミネラル」が豊富と は、「豊富」の強調表示要 件を満たす 3 つ以上のミネ ラルを含むことを意味する
a. 食品の測定単位に「1食分」を使用する場合、含有量が 100 g(ml) の要件を満たしている場合にのみ強調表示 を行うことができる			

表 5. 栄養素含有量強調表示のための同義語

推奨語	同義語	推奨語	同義語
含まない、無	ゼロ(0)、無、100%含ま ない、無、0%	含む、源	供給する、含む、持つ
極低	極少	豊富、多い	良い供給源、××を豊富に 含む、豊富な××、、多くの (量の)××を供給
低	少、少油 a		

a.「少油」は、低脂肪の強調表示にのみ使われる

2) 栄養素比較強調表示

栄養素比較強調表示は、特定の食品の栄養成分またはエネルギーの含有量を、類似の消費者によく知られた食品の含有量と比較した強調表示を指す。強調表示の文言には、「増加」「減少」などが含まれる。

表 6. エネルギーおよび栄養素の比較強調表示の要件および条件

比較強調表示	要件	条件
エネルギー低減	参照食品に比べて、エネルギーが 25%より多く低減	参照食品(基準食品)は、同じカテゴリまたは同じクラスの良く知られた、消費者が容易に理解できる食品でなければならない。
たんぱく質増加または低減	参照食品に比べて、たんぱく質含有量が 25%より多く増加または低減	
脂肪低減	参照食品に比べて、脂肪含有量が 25%より多く低減	
コレステロール低減	参照食品に比べて、コレステロール含有量が 25%より多く低減	
炭水化物増加または低減	参照食品に比べて、炭水化物含有量が 25%より多く増加または低減	
糖低減	参照食品に比べて、糖含有量が 25%より多く低減	
食物繊維増加または低減	参照食品に比べて、食物繊維含有量が 25%より多く増加または低減	
ナトリウム低減	参照食品に比べて、ナトリウム含有量が 25%より多く低減	
ミネラル(ナトリウムを除く)増加または低減	参照食品に比べて、ミネラル含有量が 25%より多く増加または低減	
ビタミン増加または低減	参照食品に比べて、ビタミン含有量が 25%より多く増加または低減	

表 7. 栄養素比較強調表示で使用するための同義語

推奨語	同義語	推奨語	同義語
増加	×%(×倍)増加	低減	×%(×倍)低減
	増加、×%(×倍)増加		低減、×%(×倍)低減
	添加、×%(×倍)添加		少ない、×%(×倍)少ない
	上昇、×%(×倍)上昇		減少、×%(×倍)減少
	×%(×倍)追加		×%(×倍)下降

	×%以上、×倍上昇、など		×%(×倍)低く、など
--	--------------	--	-------------